



1 学期終業式(7/31) 夏休み前の話

6年国語の教科書に『時計の時間と心の時間(一川 誠 千葉大教授 著)』という話があります。この『心の時間』とは、『体感時間』のことです。あっという間に時が過ぎたり、なかなか過ぎなかったりするの、**体感時間の違いが原因**です。今回、「浦島太郎」の話も加えながら、夏休みの過ごし方について子供たちと一緒に考えました。



『うらしまたろう』のお話



7/31 夏休み前の話



5つのチャイム(リズム)

- ①朝(はやあき)
- ②朝ごはん
- ③昼ごはん
- ④夕ごはん
- ⑤夜(はやね)



一川 誠 教授は、**時間をじっくり楽しむ(体感時間を増やす)**ために、次の3つが大切だと言っています。

- ① **新しい体験** → 通常できないことにチャレンジしよう!
- ② **ドキドキ・わくわく感** → 屋外で、ドキドキ・わくわくはないか探してみよう!
- ③ **代謝アップ** → 生活リズムを整えて、適度な運動をしよう!

一番まずいのは、だらだらと室内でゲームをすることです。

現代版「浦島太郎」では、ゲーム依存の太郎が、竜宮城にこもり、ゲームをし続けた結果、あっという間に時間が過ぎたという説もあります。

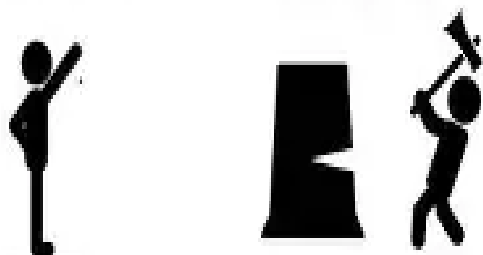
子供たちには、夏休みを有効に過ごしてほしいと願っています。御家庭でも話題にしていただけると有り難いです。



木こりのジレンマ

刃がボロボロだよ！
研いだ方がよいのでは？

わかってるけど…
そんな暇ないよ！



「木こりのジレンマ」

旅人が、森で木こりに出会った。旅人は、木こりが懸命に木を切るも、木が倒れないのが不思議だった。よく見ると、斧の刃がボロボロだった。旅人は木こりに、「刃を研ぐと、もっとよく切れるよ。」と助言するが、木こりは「忠告は有り難いが、今とても忙しく、斧の刃を研ぐ時間なんてない。」と言い返し、再び木を切り始めた。

木こりの言動は確かに滑稽です。しかし私も、「重要なこと（斧の刃を研ぐ）」より「緊急なこと（木を切る）」を優先しがちです。今回は、自分の時間の使い方についても振り返るいい機会になりました。

9月行事のお知らせ

- 1日（月）2学期始業日
- 8日（月）代表委員会 運動会練習開始
- 17日（水）児童テント設営・ポイント打ち
- 18日（木）読み語り1～3年
- 19日（金）結団式
- 22日（月）心のアンケート・みどりっ子ピカピカタイム
- 26日（金）読み語り4～6年



【日常の様子は一学校HP】



是非チェックしてください！